



# つめかえインク取扱説明書

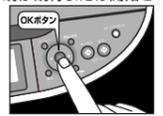
INK-3BK200S、INK-9BK200S・7BK200SE、INK-7C・7M・7Y・7PC・7PM100SEシリーズ共通

ご使用前に必ずお読みください。



## つめかえの手順(続き)

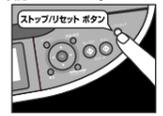
②印刷中または印刷前にインクがなくなった表示が出た場合は、プリンタ操作パネルの [OK] ボタンを押してください。①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。



U041

インクがなくなりましたインクタンクを交換して、カバーを閉じてください

③印刷中または、印刷前にこの表示が出たら [ストップ/リセット] ボタンを5秒以上押し下し、インク残量検知機能が無効になり、印刷が可能になります。



U130

下記のインク残量を正しく検知できません

④操作を行ったインクの色は残量表示は無効となりますが、印刷が可能となります。

コピー

残量検知機能はカートリッジを新品カートリッジにかえることにより、再び動作します。残量検知機能を無効にした後はインク残量が表示されませんので印刷の際はカートリッジのインクの有無を確認しながら行ってください。

キヤノンプリンタMP500を使用時の画面です。

## 8 クリーニングと印字テスト

カートリッジをプリンタに取り付け、最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。クリーニングの繰り返しはカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

## 2回目からは.....

カートリッジをホルダーに取り付けて、付属のプライバを使ってプラグを抜き取り、の手順でつめかえを行ってください。INK-3BK200Sではプライバは必要ありません。



## つめ替え回数

つめかえによるカートリッジの再使用は3~4回までが適当です。それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめかえたカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジをお使いになることをお勧めします。

## つめかえが終わったら

つめかえた後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け、涼しい所に立て、次のつめかえまで保管してください。ホルダーと注入器・注入パイプは付着したインクを水で洗い流して、水分をふき取ってからパッケージに入れて保管してください。

## ホルダーを保管用として使う方法とお願い

保管方法 カートリッジをホルダーに取り付けます(手順1参照)。さらに通気のみぞに接着テープを貼りつけて、カートリッジを密閉状態にして保管してください。

**注意** インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりとインクの漏れや乾燥の原因となり、保管効果がなくなりますので注意してください。

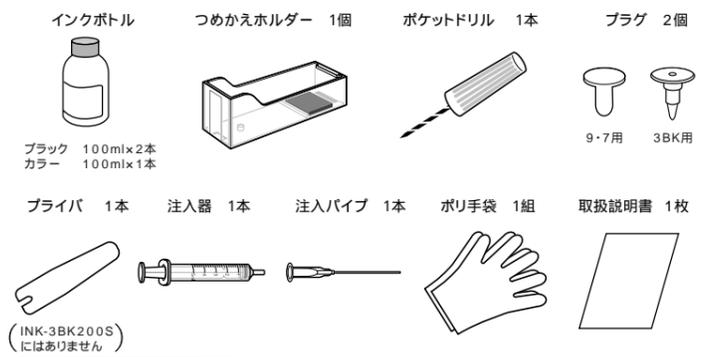
お願い 長期間の保管用ではありません。カートリッジはホルダーをしていても、長期間使用されていないと自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にカートリッジをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。



**注意** インクカートリッジの種類により適するインクが異なります。対応カートリッジをご確認の上ご使用ください。同色のインクカートリッジを使用する場合は必ず印などをつけて判別できるようにしてください。インクは身体及び衣類等に付着するとすぐには消えません。取扱にご注意ください。ご使用前に注意事項を必ずお読みください。同シリーズ以外のものでインクを使用したカートリッジには対応していません。

## セット内容

このパッケージの中には以下のものが含まれています。数量、セット内容は型番により異なります。もし、不足しているものや、損傷などがありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。



安全上の注意

次の注意事項は、つめかえる時の危害や損傷を未然に防ぎ、つめかえインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。つめかえは新聞紙などを敷いて、そのうえで行ってください。つめかえる時にインクがこぼれ、周辺が汚れる事があります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめご用意ください。本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては注入する時の他は、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持たないようにしてください。ポケットドリルは金属製です。使用の際はご使用者本人および周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後は「パッケージ(箱)」に入れ、小児・幼児の手の届かないところで保管してください。

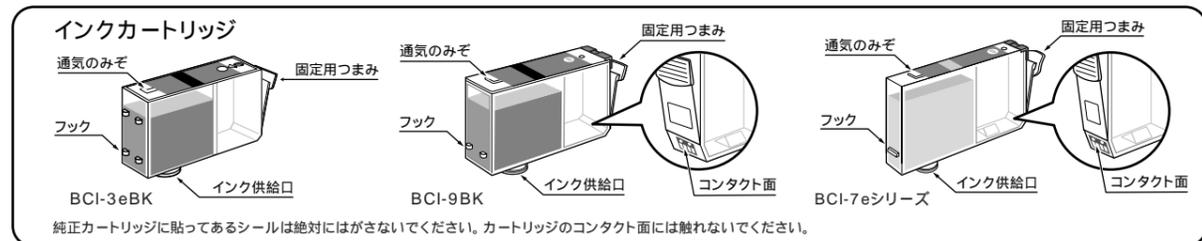
**注意** 子供の手の届く所に置かないでください。飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合は、医師の診断を受けてください。目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。カートリッジをプリンタから取り外したり取り付けた際は、プリンタの取扱説明書の指示に従ってください。インクは開封後1年以内にご使用ください。

## トラブルシューティング

症状	確認事項	処置	
つめかえ作業中	インクの漏れが止まらない。	他社のつめかえを先に行っていないか。	つめかえ方法や治具の形状が違っていますので、回復出来ない場合があります。印刷不良や悪む事故などの原因となります。必ず純正品からつめかえて、本書に記載されていること以外は行わないで下さい。
	注入中にインクが漏れてくる。	カートリッジのホルダーへの取り付け方が正しいか確認してください。 インク供給口がホルダーのゴムに全面密着していますか。	カートリッジのフックと固定用つまみホルダーのつめに固定されているか、カートリッジ本体が傾いたり、斜めになったりしていないか確認して、まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。(手順1)
	プラグをした後にインクが漏れている。	インク供給口からインクが漏れていませんか。	プラグの差し込み方を確認してください。カートリッジをホルダーに付け直して、再度差し込み直してください。(手順6) 余分なインクが残っている可能性があります。カートリッジをペーパータオルなどに上に置いて、再度インクを除いてください。(手順7)
印刷の時	つめかえた色のインクが出ない。	カートリッジが正常に取り付けられているか確認してください。 インク供給口からインクが漏れてきませんか。	カートリッジが浮き上がった状態ではインクが供給できません。固定用つまみがカチッと音がするまで入れ直してください。 余分なインクが残っている可能性があります。カートリッジをペーパータオルなどに上に置いて、再度インクを除いてください。(手順7)
	印刷にかすれやスジが入る。または、途中で途切れる。	カートリッジを確認してください。 長期使用していない。または、外してあったカートリッジではありませんか。 他社のインクと併用していませんか。	互換カートリッジや再生リサイクルカートリッジをつけていませんか。純正品以外は対応していません。 インク供給口や空気のミゾをカバーしないで放置されたカートリッジをつめかえても、残っていたインクの乾燥や劣化により正常な印刷ができない可能性があります。つめかえる前に必ず印字できるか確認してください。 純正互換インクなので、併用した場合インクのかすれや出なくなるおそれがあります。
	色合いがおかしい。	ノズルチェックをして、出力した色を確認してください。 カートリッジの取り付けを確認してください。 カートリッジの色とつめかえた色とが合っていましたか。 他の色でつめかえたホルダーを使用し、インク供給口の色が変わっていませんか。 他社のつめかえを先に行っていないか。 インクが乾いていますか。	弊社オリジナルインクを使用しており、同等の品質を実現させていますが、若干の色の差異が生じる場合があります。 つめかえたカートリッジが正しい色の所に戻されているか見てください。 シアシアンとフォトシアシアン、マゼンタとフォトマゼンタなど、よく似た色をつめかえてしまう場合があります。このような場合はいったんインクを全部抜いて、本来の色のインクを入れ直し正常な色になるまで印刷する必要があります。 インク供給口のフィルターに本来の色が出るまでティッシュペーパーなどを押し当てて下さい。変わった色が消えれば使用できます。 併用した場合、色が変わる恐れがあります。必ず、純正品からつめかえてください。 用紙により差がありますが、インクは印刷してから乾くまで時間がかかり、その間、色合いは変化して行きます。少なくとも30分以上経過してから確認してください。
	ホルダーの保管	ホルダーに付けていたらインクが漏れて来た。 長い間保管していたらインクが漏れてきたり、印刷ができなくなったりした。	インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。(手順1) カートリッジはホルダーをしていても、長期間使用されていないと、自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にカートリッジをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。
	残量検知機能解除操作について	残量検知機能解除操作が必要なプリンタかどうかかわからない。 残量検知機能解除の画面表示が現れない。	プリンタの機種がA(2005モデル)かB(2006モデル)か、確認してください。 BCI-9BKまたはBCI-7eシリーズのインクカートリッジを取り付けて、LED(発光ダイオード)が赤く点灯するプリンタがB(2006モデル)で、残量検知機能解除の操作が必要です。点灯しないプリンタはA(2005モデル)ですのでこの操作は必要なく、そのままつめかえたカートリッジを取り付けて印刷できます。 解除の画面表示が現れるタイミングはお使いの状況により異なります。印刷量に比例して多量に早く現れます。それまでは、つめかえたカートリッジをプリンタに取り付けて、通常通り印刷が実行されれば印刷は継続されます。ただし、インク残量やインク切れはカートリッジや印刷状況を見て注意してください。

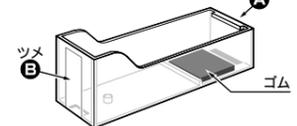
つめかえインクを使用したカートリッジを使ったプリンタは、メーカーによっては不正改造に当たると判断される場合があります。不具合が発生した場合まず弊社にご連絡ください。

## 各部の名称



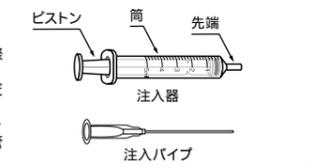
## つめかえホルダー

ホルダーはつめかえ作業とカートリッジの一次的な保管用としてお使いになります。保管については「ホルダーを保管用として使う方法とお願い」を参照してください。



## 注入器・注入パイプ

注入パイプは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後は「パッケージ(箱)」に入れ小児・幼児の手の届かないところに保管してください。



## つめかえの前に必ずお読みください

### つめかえのポイント

カートリッジ内のインクがなくないうちにつめかえを行ってください。インクが切れてしまうとつめかえしてもプリントヘッドのインク供給に時間がかかり、しばらく印字しない場合があります。長期間プリンタをお使いになってない場合、つめかえを行う前に必ず印字できるかどうかご確認ください。また、取り外して放置されていたカートリッジは、インクが正常に出て印刷できるか確認してください。正常でないカートリッジをつめかえても印字不良となります。乾燥しやすい場所では、作業しないでください。プリントヘッドやインクが凝固し故障の原因となる恐れがあります。

### 準備

つめかえのときにインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルなどを用意し、その上で作業を行ってください。手や着衣にインクが着かないよう付属の手袋をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。



次のキヤノンプリンタでインクをつめかえてご使用になる時の注意。

PIXUS iP4200、iP7500、iP6600D、iP5200R、iX5000、Pro9000  
MP500、MP800、MP950、Pro9000、MP830 (下記を参照してください)

上記のBCI-9BKおよびBCI-7eカートリッジ専用プリンタでつめかえインクカートリッジを使って印刷するには、プリンタの「インク残量検知機能を無効にする」という操作が必要で、本取扱説明書のつめかえ手順のあとの「無効にする操作手順」を参考に行えばインク残量は表示されませんが、印刷は通常通り行えます。

ファクス機能付き複合機PIXUS MP830でつめかえインクを使用する場合つめかえたカートリッジをプリンタに戻し印刷作業を行うと「インクが少なくなっています!」「インクがなくなりましたX」のメッセージが表示され、プリンタ操作パネルのOKボタンを押すと通常の印刷は可能となります。ただしこの表示がされている時ファクス受信機能は代行受信となりメモリに保存されますので手で保存されているファクスを印刷してください。(手動印刷の方法はプリンタの取扱説明書に従ってください)残量検知機能を無効にした後からは受信設定通りに受信した後にファクスが印刷されます。



### 注意

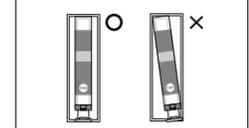
この操作による表示解除はつめかえて使用したカートリッジだけであり、新品カートリッジを取り付けた後は、残量検知機能と残量表示は有効に戻ります。インクをつめかえたカートリッジやそれを使用したプリンタは、メーカーによっては不正改造にあたりみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不明点、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。インクカートリッジのコンタクト面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

## つめかえの手順

### 1 カートリッジをホルダーに固定する

1. カートリッジの図で示すところにフックがあります。カートリッジをホルダーに向かって斜めに入れ、フックをホルダーのツメAの下側に差し込むように入れます。
2. カートリッジの(注)部分を押して、固定用つまみがツメBに「カチッ」という音がするまで押し込んで固定してください。
3. カートリッジのインク供給口がホルダー底側のゴムに全体が合っていることを確認してください。

**注意**  
カラーカートリッジは斜めに固定されないようにしてください。



### 2 カートリッジにインク注入口をあける

ポケットドリルの先端を図で示す位置(丸いへこみの中)に合わせ、垂直に立てた状態で少し力を加えながら時計方向に回転させて、まっすぐ穴を開けます。

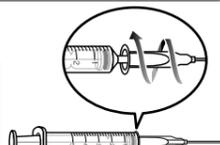
**注意**  
(注)の部分には絶対に開けないでください。斜めに穴を開けてしまうと、注入口が大きくなり、手で使用するプラグがしっかり閉まらなくなる場合があります。



### 3 注込器に注込パイプをつける

注込パイプを注込器先端に差し込み、強くねじ込んでください。

**注意**  
ねじ込み方が弱いと注込中にインクが漏れたり、パイプが外れたりして、インクが飛び散る場合があります。



### 4 注込器にインクを移し替える

1. インクボトルのキャップを取り、手袋を着用してボトルの口のゴムキャップを外してください。
2. ボトルからインクを注込器に移し替えます。

**注意**  
注込器の最大容量は5mlですので、何回か注入する量に応じて移し替えてください。つめかえがすんだら、外したゴムキャップを元に戻して、キャップをしっかりと締めてください。

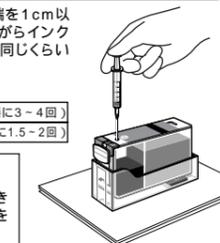


### 5 インクを注入する

ドリルで開けた注込口に注込パイプの先端を1cm以上差し込み、ピストンをゆっくりと押しながらインクを注入してください。インクはスポンジと同じくらいの高さまで注入してください。

インク注入量の目安  
BCI-3e・9BKの場合 約15~20ml(注込器に3~4回)  
その他のカートリッジの場合 約7~10ml(注込器に1.5~2回)

**注意**  
上記の注入量はインクを使い切ったときの推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。



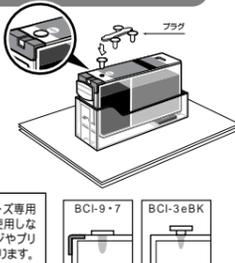
## つめかえの手順(続き)

### 6 注込口にプラグを差し込む

注込口からこぼれたり付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。付属のプラグを注込口に差し込み、インクが漏れないようにしっかりとフタをします。

**注意**  
注込口にプラグがしっかり差し込まれていないと、インクが供給口から流れ出てしまわない場合があります。しっかりとプラグを差し込んでください。

つめかえインク INK-3・6シリーズ専用プラグのため7・9シリーズには使用しないでください。インクカートリッジやプリンタに不具合が発生する恐れがあります。



### 7 カートリッジをホルダーから外し、余分なインクを除く

カートリッジは固定用つまみを押しとホルダーから外れます。ペーパータオルなどの上に10~20秒置いて余分なインクを除いてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。

**注意**  
インクがこぼれた状態でカートリッジをプリンタに装着しないでください。

BCI-3eBKのカートリッジは手順1に進んでください。

### つめかえたあとの作業について

つめかえ手順はBCI-9BK・BCI-7e・BCI-7シリーズ共通ですが、その後は使用プリンタの機種によって作業が分れます。

モデル	対応インク	インク残量検知機能無効操作の必要はありますか?
A 2005年モデル IP910 / IP8600 / IP8100 / IP7100 / IP6100D / IP4100 / IP4100R / IP3100 / MP900 / MP790 / MP770	IP910 / IP8600 / IP8100 / IP7100 / IP6100D / IP4100 / IP4100R / IP3100 / MP900 / MP790 / MP770	インク残量検知機能無効操作の必要はありません。カートリッジをプリンタに取り付けて手順1を行ってください。
B 2006年モデル iP7500 / iP6600D / iP5200R / iX5000 / iP4200 / MP950 / MP830 / MP800 / MP500 / Pro9000	iP7500 / iP6600D / iP5200R / iX5000 / iP4200 / MP950 / MP830 / MP800 / MP500 / Pro9000	インク残量検知機能無効操作の必要があります。カートリッジをプリンタに取り付けて下記の手順に従ってください。

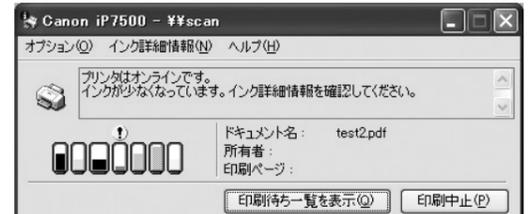
### B(2006年モデル)のプリンタをお使いの方

#### インク残量検知機能無効操作について

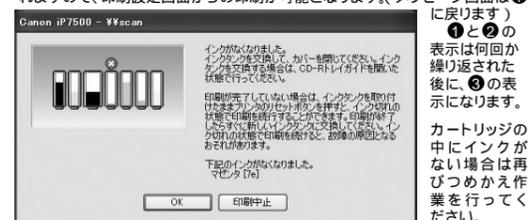
キヤノンのプリンタ PIXUS iP7500/iP6600D/iP5200R/iX5000/iP4200/MP950/MP830/MP800/MP500/Pro9000で使用する場合は以下の作業を行う必要があります。以下の作業方法についてはキヤノンとは無関係であり、承認されたものではありませんのでお客様の判断により行ってください。インク残量検知機能が無効になるのはこの操作を行ったカートリッジのみですので、再び新品カートリッジを使用し、つめかえをした場合は再度この操作が必要となります。

【PIXUS iP7500/iP6600D/iP5200R/iX5000/iP4200/MP950/MP830/MP800/MP500/Pro9000のインク残量検知機能無効操作の手順】

① つめかえ後のカートリッジを挿入すると下記のメッセージが出た状態が続きます。実際はインクが充填されている状態にもかかわらず、インクが少なくなったというメッセージが続きますが、つめかえインクが充填されているため、通常通り印刷をすることが出来ます。注意:インクカートリッジの状況によっては、つめかえ後のインクを使い切ってしまう場合もあります。インクカートリッジの状況をよく確認してください。



② しばらく印刷した後、再度下記のようなメッセージが出てきます。インクカートリッジを取り付けたまま、プリンタ本体のリセットボタンを押して下さい。押し中、印刷が可能となり、印刷の場合なら停止したところから続行されます。(MPシリーズのプリンタは操作パネルのOKボタンを押してください。)または、メッセージ画面の【印刷停止】をクリックすれば印刷が中止されますので、印刷設定画面からの印刷が可能となります。(メッセージ画面は①に戻ります)



①と②の表示は何回か繰り返されたら、③の表示になります。カートリッジの中にインクがない場合は再びつめかえ作業を行ってください。

### 3 つめかえインクを使用しているため残量検知が正しくできません。つめかえインクをそのまま使用し続けるためには「OK」を押してください。



### 4 つめかえインクを使用する場合は残量検知機能を無効にする必要があります。つめかえインクを使用し続けるためには「はい」を押してください。



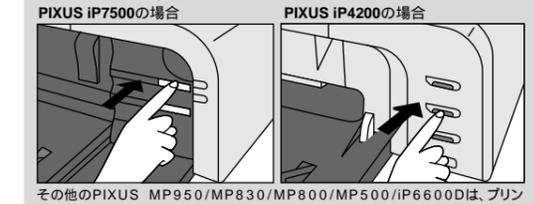
### 5 つめかえインクが原因での故障に關しましてはサソサソが責任を持って対応させていただきます。ただし、つめかえインクを使用したことを履歴に残すかはお客様の判断で「はい」を押してください。



### 6 リセットボタンを5秒間押しした後使用が可能です。



### 【リセットボタンの位置】



残量検知機能はカートリッジを新品カートリッジにかえることにより、再び動作します。残量検知機能を無効にした後はインク残量が表示されませんので印刷の際はカートリッジのインクの有無を確認しながら行ってください。キヤノンプリンタ PIXUS iP7500(OS Windows XP)を使用時の画面です。

### 【PIXUS MP950/MP830/MP800/MP500のインク残量検知機能無効操作の手順】

PIXUS MP950/MP830/MP800/MP500はパソコンに接続しない状態でもインク残量検知機能無効操作ができます。同プリンタをパソコンに接続せず使用されている方は下記方法を行ってください。

① つめかえ後にカートリッジをプリンタに戻し、液晶モニターにこの表示が出たら【はい】を選択し、プリンタ操作パネルのOKボタンを押せば、印刷が可能となります。(印刷途中であれば再開され、印刷前なら開始できます)

② 注意:つめかえ後は、つめかえた実際のインク量と液晶モニターの表示は異なります。インクが無くなるように、早めにインク残量を確認して少なくなったら次のつめかえを行ってください。

